鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第64号
平成28年
6月1日発行

NPO法人明日のたね

地域に根差した子育て支援活動を展開中!!

親子と高校生ボランティア

夏休みにダンスで楽しく！

親子ヨガとキッズスペース

ひろばで子育てフリーマーケット中

高校生ボランティアと小学生

「ＮＰＯ法人明日のたね」では昨年度、共同募金配分金を活用し「地域多世代交流 隣のおばちゃんち事業」を実施しました。

この事業は、子ども連れの親子を中心に、多世代が同じ空間で一緒に活動できる機会と場の提供を目的としており、おじいちゃん・おばあちゃんもいきいきと体操やヨガ、フリーマーケットなどの交流活動を楽しめるところが特徴といえます。参加した方々からは「いろんな世代と関わることで、子育ての悩みが消えていった」などの声が寄せられ、大変喜ばれています。

ＮＰＯ法人明日のたねは、旧長沼児童館を「子育て応援ひろば」として活動しています。代表理事の伊藤和美さんは「子育てにニッチもサッチもいかず困った私たち（ママたち）が、社会のニッチ（隙間）をサッチ（察知）して「困った」を解消していきたい」と明日のたねの立上げに至った想いを話してくださいました。

他にも、「庄内地域子育て情報サイトTOMONI」の運営や「安心ノートTOMONI」を使った親子防災啓発事業、「子育て世代を応援!!託児請負事業」など、子育て世代が地域やいろんな人の支えを感じながら安心して子育てできる社会を目指して活動を展開中です。

鶴岡市社会福祉協議会

平成28年度 事業計画と予算

３月に開催された評議員会で、今年度の鶴岡市社会福祉協議会事業計画と予算が承認されました。

５つの重点事業

重点事業❶ 地域福祉活動計画と地域支え合いプランの計画的な実践

住民主体による地域福祉活動、災害時のボランティア活動、コミュニティソーシャルワーク※実践を充実するための仕組みや体制整備について、新たに策定した地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画 2015」に基づき、具体的な検討を進めるとともに、福祉センター毎に策定した「地域支え合いプラン」を関係団体等と協力して計画的に実践します。

重点事業❷ 個別生活課題に関わる相談支援事業の充実

成年後見制度の啓発活動を進めるとともに、日常生活自立支援事業や生活困窮者自立相談支援事業等における個別生活相談に対し丁寧に支援していきます。また、生活困窮者自立相談支援事業では就労支援の他に、学習支援のあり方についても各関係機関と連携しながら検討していきます。

重点事業❸ 「発展・強化計画」の推進

第二期「発展・強化計画」の初年度として「地域福祉活動計画」並びに「事業経営計画」と連動しながら推進していくとともに、法人の理念や諸規程、さらには社会的規範やモラルを遵守した経営に努めていきます。

重点事業❹ 介護保険及び障害福祉サービス事業等の安定的な運営

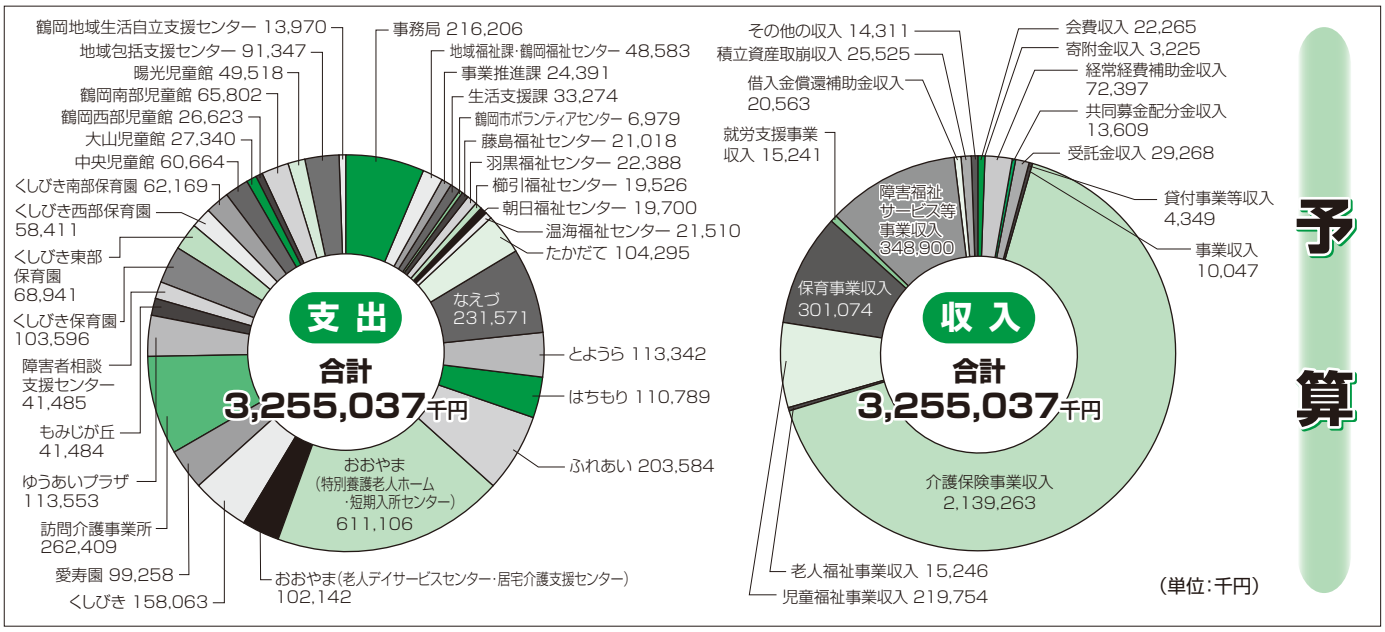
介護職員の確保に努めるとともに、利用者の自立支援をサポートできる職員の育成を図り、利用者のニーズに合ったサービス提供を行っていきます。また、第二期の「事業経営計画」の初年度として、着実で安定した運営を行っていきます。

重点事業❺ 子育て支援、子どもの健全育成の充実

子どもを取り巻く環境が大きく変容する中で、27 年度に施行された「子ども・子育て支援新制度」や「鶴岡市子ども・子育て支援事業計画」を踏まえ、子育て支援及び子どもの健全育成の充実に努めていきます。

※コミュニティソーシャルワーク：援助を個別化するだけでなく、地域（社会）共通の課題ととらえ、個人の援助とそれを支える地域（社会）の活動への支援を同時並行的に働きかけていく活動。

予算



事業計画

鶴岡市社会福祉協議会は本市における地域福祉推進の中核団体として、お互いにささえ合う安心した暮らしと優しさを育む福祉のまちを創るため、住民の主体的参加と行政並びに関係団体等との協働による「おだがいさまのまちづくり」を推進します。

地域福祉事業

新たに策定した地域福祉活動計画に基づき、計画実施の初年度として、時代の変化に伴う新たな地域課題・生活課題に対応するための取組を、行政や関係機関、団体等と協力し計画的に推進します。

○福祉コミュニティづくり事業

学区・地区社協に対する活動助成金の交付、学区・地区社協連絡委員会の運営及び情報交換会、研修事業の実施により、小地域福祉活動の基盤づくりを図ります。

○おだがいさまのまちづくり事業

小地域における見守り・支え合いなどの福祉活動や地域課題の「発見と対応」の仕組みづくりを支援し、住民主体の活動を強化し、地域力の向上を図ります。

- 福祉活動支援事業・地域福祉活動推進支援事業
- おだがいさまネット活動推進事業
- 地域福祉の担い手発掘・養成事業
- 福祉関係団体等助成事業

○会食・配食・交流事業

コミュニティセンター、公民館単位で学区・地区社協などが実施主体となり、各種交流活動による仲間づくりと見守り、生活支援を図ります。

○食の自立支援事業（市受託）

援助が必要な在宅高齢者に栄養バランスの取れた食事を定期的に提供します。

○福祉有償移送サービス事業

要介護等認定者、身体障害者手帳・療育手帳所持者で、公共交通機関の利用が困難な方々に対して、福祉車両により通院などの外出を支援します。

○福祉ボランティアまちづくり事業

ボランティア活動のコーディネートや講座・研修会の開催、福祉学習の推進を図ります。また、本市で災害が発生した際、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう、関係機関とネットワークづくりを進めていきます。

○大震災等支援活動推進事業（県社協受託）

鶴岡市に避難している方々へ、交流事業や相談支援を行います。

○地域福祉運営事業

- 「福祉のつどい」や各種研修会の開催
- 「鶴亀番付」の発行

○コミュニティソーシャルワーク実践者養成事業
○家族介護者交流激励支援事業（市受託）
○介護予防地域密着型デイサービス事業（市受託）
○共同募金配分金事業

児童福祉事業

昨年度施行された子ども・子育て支援新制度、及び鶴岡市の子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、多様化する子育て支援ニーズを的確にとらえながら、子どもや保護者にとって安全で安心な子育て環境づくりを推進し、子どもの健全育成を図ります。

○保育所運営　○児童館運営　○子育て広場運営
○学童保育所運営（放課後児童健全育成事業）

生活支援事業

日常生活自立支援事業や法人後見など様々な支援をとおして権利擁護活動を推進していきます。27年度より受託した「生活困窮者自立相談支援事業」（県・市受託）については、市と事業実績の検証を行い、任意事業（就労支援や学習支援等）の検討を進めるとともに、民間企業とのネットワーク構築に努めていきます。

○ふれあい福祉相談事業

福祉全般に関わる常設相談を実施するとともに、無料法律相談（予約制）を年14回開催します。

○日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の方々へ、福祉サービスの利用や日常的金銭管理の援助を行います。

○権利擁護ネットワーク構築事業

成年後見制度による後見人となり、財産管理や身上監護を行い個人の権利を擁護するとともに、後見業務を実施している受任団体とネットワークの充実を図り、成年後見制度の普及啓発に努めます。

○生活福祉資金貸付事業（県社協受託）
○たすけあい資金貸付事業
○鶴岡地域生活自立支援センター「くらしステーション」（県・市受託）

相談窓口「くらしステーション」を鶴岡市役所内に設置し、生活保護に至る前の段階の生活困窮者への自立支援の強化を図ります。

高齢者福祉事業

“その人らしい生活”を実現するために、利用者の視点に立ったニーズ把握を行い、ケア関係者が共通の視点を持ち、心身状況を理解しながら、一人ひとりの生活を支援します。

○介護保険事業の安定的な運営

住み慣れた地域で安心した日常生活を送ることができるよう、利用者の自立した生活を支援します。

- 在宅サービス事業
  通所介護事業　訪問介護事業　居宅介護支援事業
  訪問入浴事業　短期入所事業
- 入居サービス事業
  特別養護老人ホーム　グループホーム

○受託事業

- 通所型介護予防事業

○独自事業

- 介護職員初任者研修
- 生涯現役推進事業「なりげんき塾」
- 社協専門職資質向上研修事業

障がい者福祉事業

誰もが住み慣れた地域で安心した日常生活を送ることができるよう、自立支援の視点を持ち、障がい者の個別支援を充実させ、社会参加を積極的に支援します。

○就労継続支援事業　○生活介護事業
○自立訓練事業（生活訓練）　○日中一時支援事業

情報掲示板

朝日福祉センター移転のお知らせ

３月１日に「朝日福祉センター」と「地域包括支援センターあさひ」が朝日庁舎２階に移転し、福祉相談窓口のワンストップサービスを開始しました。

これにより、複数の窓口へ行くことなく、ひとつの窓口で総合的な福祉相談や手続きができるようになります。生活の心配ごとや困りごとなど、お気軽にご相談ください。

作業所月山 車両整備事業終了のお知らせ

日本財団の2015年度障害者支援施設の車両整備事業において、477万円の助成を受け「2トンWキャブダンプ」を購入し、農・畜産用で主に堆肥運搬に活用しています。

ダンプ機能で荷降ろしが楽々な上、７人乗りなので作業効率が大幅に改善されました。毎日安全作業を心がけ頑張っています。

社会福祉法人 月山福祉会
障害福祉サービス事業　作業所月山
鶴岡市中野京田字壱柳４－１
TEL：24-8541

赤い羽根募金 配分施設・団体のお知らせ

平成27年度に皆さまよりご協力いただきました赤い羽根共同募金は、平成28年度に地域福祉の推進のため、施設や地域活動に役立てられます。

〈本市の福祉施設・団体への配分総額 4,453,000円〉

配分団体	
地域福祉在宅福祉事業	鶴岡市第一学区社会福祉協議会
	鶴岡市第二学区社会福祉協議会
	鶴岡市第五学区社会福祉協議会
	自立支援センターふきのとう
	鶴岡市ボランティア連絡協議会
	ＮＰＯ法人鶴岡災害ボランティアネットワーク
	市民参加型ミュージカル「ハッピーバースデー」あさひ実行委員会
「福祉の心」推進事業	新形愛育会新形保育園
	くしびき東部保育園
障がい者小規模作業所支援事業	ＮＰＯ法人やすらぎの会 きらり稲生
	ＮＰＯ法人やすらぎの会 多機能型事業所ひかり
	ＮＰＯ法人工房せい
	ＮＰＯ法人ゆきやなぎ 青柳作業所
	ＮＰＯ法人鶴岡福祉村 障害者支援オフィス「ひので」
	ＮＰＯ法人一歩
民間立学童保育所支援事業	第六学区学童保育所ゆりのき
	大山放課後児童クラブ（第１はらっぱ）
	大山放課後児童クラブ（第２はらっぱ）
	第一学区学童保育所（花の子）
	第四学区学童保育所（太陽の子2）
福祉車両整備事業	ＮＰＯ法人いなほ作業所

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
（平成28年3月6日から～平成28年5月2日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ
- 鈴木　洋子 様　500,000円
- 丹下　せい子 様　100,000円
- 特定非営利活動法人 山形人権フォーラム 様　100,000円
- ニューナイス歌謡会 様　30,000円

◎羽黒福祉センターへ
- 丸山　和義 様　高齢者用おむつ等一式
- 鶴岡市立羽黒第二小学校 環境委員会 様　4,000円

◎温海福祉センターへ
- 冷泉寺護持会 様　30,000円
- 加藤　智光 様　30,000円

★東日本大震災の避難者支援事業へ
- 三瀬地区自治会 様、氣比神社氏子会 様　27,510円
- SPS/ Spring Park Session 様　6,240円

★高齢者福祉センターおおやまへ
- 松倉　和子 様　4,601円

★はちもりへ
- 戸田　顕也 様　ポータブルトイレ1台

★温海デイサービスセンター愛寿園へ
- 匿名　20,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ
- イオンリテール㈱、イオンモール三川店 様　掃除機、ドライヤー使い捨てマスク5点
- マックスバリュ鶴岡南店 様　生活用品60点（ティッシュペーパー、トイレットペーパー、柔軟剤等消耗品）

おだがいさま
第64号
平成28年6月1日発行
発行部数　48,800部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号（にこ❤ふる２階）
TEL 0235-24-0053　FAX 0235-23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター　TEL 24-0053
藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。